

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和5年度) 2023年

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	11	11	土	8:30	15:30	五味ヶ谷市民の森	22名
活動名称	五味ヶ谷里山体験会					報告者：吉井 優	

1、活動目的

私達が市民管理協定で整備している五味ヶ谷市民の森は、竹林と雑木林からなり、近隣住民の散策路として親しまれています。この森を子供たちに積極的にアピールし、楽しさを通して森の大切さを理解してもらいます。自然環境でいろいろな体験をした子ども達は、協調力・忍耐力が増し、創造力、イメージ力、問題解決能力、コミュニケーション能力が高まるという調査結果があります。 なにより、非日常的な体験により、好奇心にあふれ旺盛な知識欲とともに心の豊かな大人に育ててくれることを期待します。

2、活動内容ほか

いつものことですが、ツリーイング、ハンモック、綱渡り、竹細工、バンブーパンを実施した。受付人員は、子供48名、大人36名で、ほぼ定員の半分となりました。ツリーイングは、10人が一人一時間ずつ体験し4回実施した。ハンモックは15張り設置し、前回から新規購入したハンモックベルトを使い、効率よく設置できた。綱渡りは、スタートとエンドに傾斜をつけ乗り降りしやすくしました。竹細工もいつもどおり、花瓶やポックリ、けん玉を作った。この夏から評判の良かった竹皿は、今回も、奥さんに評判が良かったです。バンブーパンもいつものように人気で100食以上用意したため、イベント終了間際で完食しました。

3、評価：

ツリーイングは、キャンセルが数組発生したことと、該当者なしの予約を受け付けたことで8名定員割れとなり、キャンセル待ちを含めても定員になりませんでした。それでも参加人数が少ないことで、綱渡りも、ハンモックもバンブーパンも、思い切り遊んでくれたようで、満足してもらえました。

4、課題

産業まつりとかぶってしまったことと、この秋最低の低温と北風のせいと言う意見もありましたが、参加人数が、想定人数の半分となりました。子ども夢基金の助成イベントは、子どもの申請予定人数の半分以上を切ると、助成金額が半分以上に減額され、予定外の自己資金投入となります。過去2回経験しましたが、後悔だけが残りました。今回は、ギリギリ半分以上は免れましたが、何らかのペナルティーがあるかも知れません。昨年は、2週間前に坂戸のプレーパークで、五味ヶ谷の里山体験会を宣伝した結果、坂戸から子ども28名参加となりました。今年は特にPRしなかったことが悔やまれます。来年は、しっかりアピールします。また、産業まつりとかぶったことも原因の一部と思われるので、来年は11月第1週の土曜日に開催する予定です。

<里山参加会員>

小澤邦、井上、金、杉山、小沼、内藤、田中、吉富、木部

柳川、石川、松井

阿部、小澤弘、牛島、吉井、小嶋、佐野英 (撮影時不在 新井、村上、上見、風祭)

<活動写真>

